

医薬品は適正に使用することで、病気の治療等に役立つものですが、複数の医療機関を受診することで、同じ効き目の薬を重複して処方されたり、薬の飲み合わせによる副作用が発生したりすることがあります。

医薬品を安全に確実に使用していくためには、薬局や薬剤師の役割が重要です。

このたび、医薬品の適正使用を進めていく上での施策の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

★調査時期:令和7年10月

★対象者:県政モニター300人

★回答者:254人(回答率84.7%)

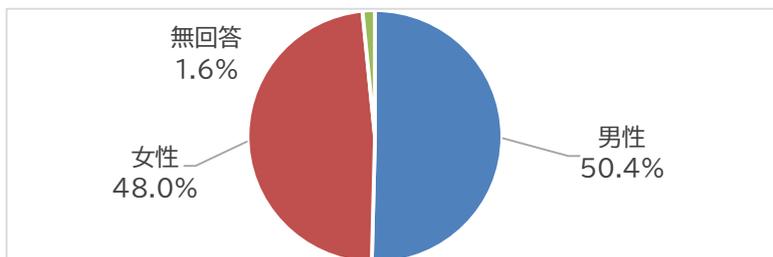
★担当課:健康医療福祉部 薬務課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【回答者の属性】

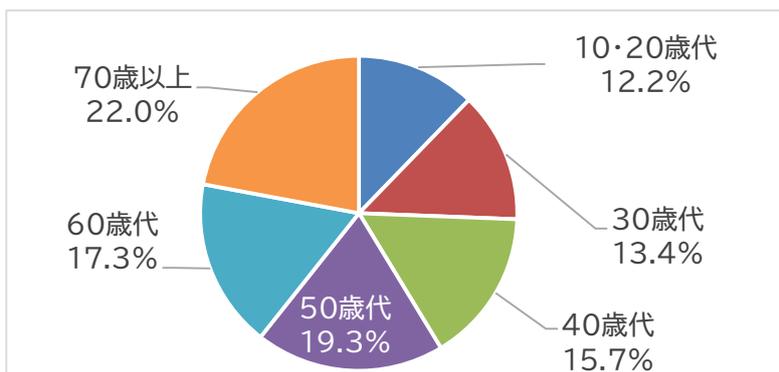
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	128	50.4%
女性	122	48.0%
無回答	4	1.6%
合計	254	100.0%



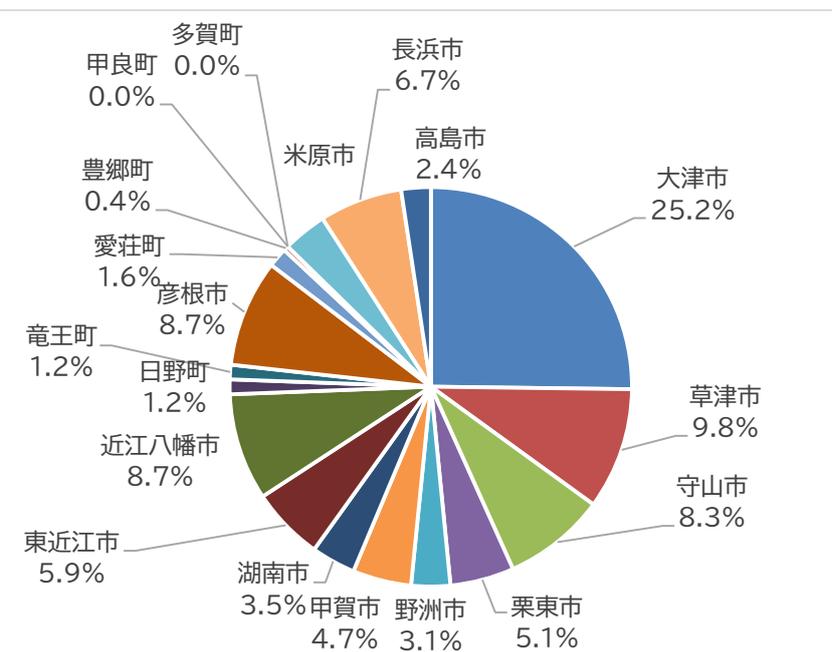
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	31	12.2%
30歳代	34	13.4%
40歳代	40	15.7%
50歳代	49	19.3%
60歳代	44	17.3%
70歳以上	56	22.0%
合計	254	100.0%



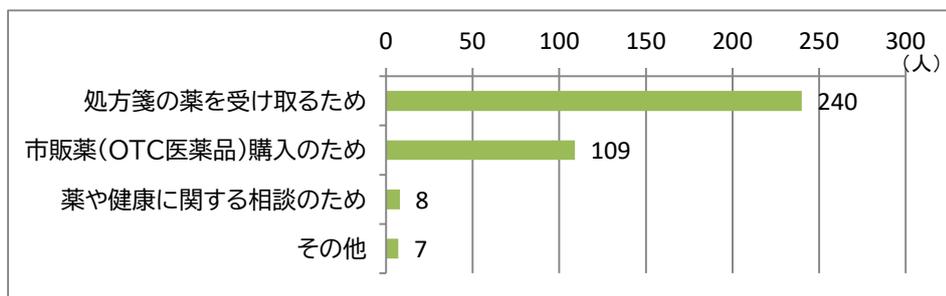
◆市町

項目	人数(人)	割合(%)
大津市	64	25.2%
草津市	25	9.8%
守山市	21	8.3%
栗東市	13	5.1%
野洲市	8	3.1%
甲賀市	12	4.7%
湖南市	9	3.5%
東近江市	15	5.9%
近江八幡市	22	8.7%
日野町	3	1.2%
竜王町	3	1.2%
彦根市	22	8.7%
愛荘町	4	1.6%
豊郷町	1	0.4%
甲良町	0	0.0%
多賀町	0	0.0%
米原市	9	3.5%
長浜市	17	6.7%
高島市	6	2.4%
合計	254	100.0%



問1 あなたが薬局を利用する目的は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=254)

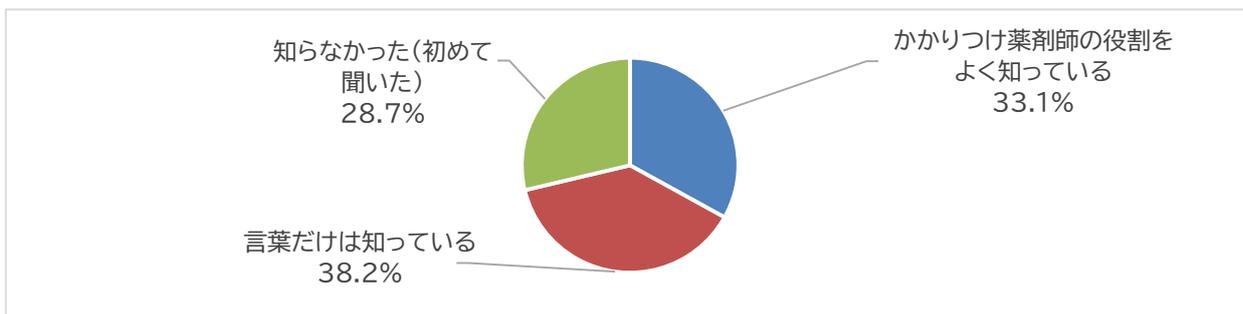
項目	人数(人)	割合(%)
処方箋の薬を受け取るため	240	94.5%
市販薬(OTC医薬品)購入のため	109	42.9%
薬や健康に関する相談のため	8	3.1%
その他	7	2.8%



[その他の意見から抜粋]  
・日用品の購入

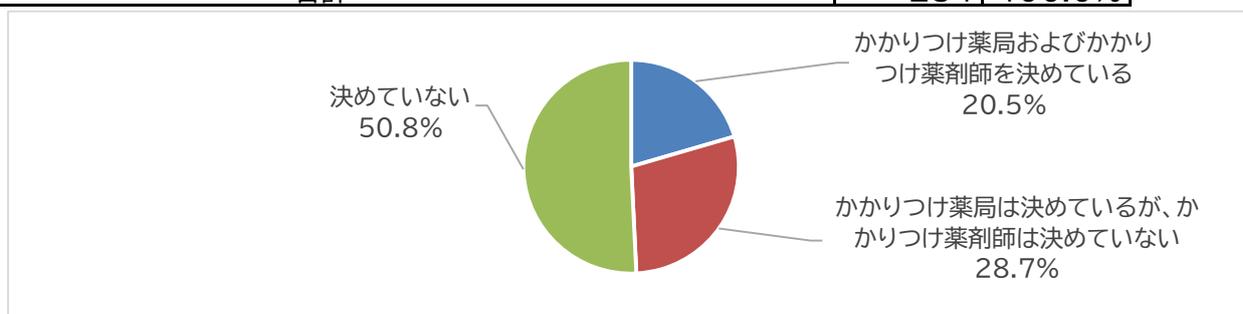
問2 「かかりつけ薬剤師(薬に関する情報を一元的に把握し、薬の飲み合わせや重複を確認したり、効果や副作用を継続的に確認してくれる、また、休日・夜間を含め、いつでも電話等で相談できる薬剤師)」を知っていますか。(n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
かかりつけ薬剤師の役割をよく知っている	84	33.1%
言葉だけは知っている	97	38.2%
知らなかった(初めて聞いた)	73	28.7%
合計	254	100.0%



問3 「かかりつけ薬局(病院や診療所で受け取った処方箋を持っていったり、薬のことについて気軽に相談できる特定の薬局)」や「かかりつけ薬剤師」を決めていますか。(n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めている	52	20.5%
かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めている	73	28.7%
決めている	129	50.8%
合計	254	100.0%



問3-1 問3で「かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めている」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めた理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=52)

項目	人数(人)	割合(%)
いきつけの医療機関の近くにあるから	31	59.6%
自宅(職場)の近くにあり便利だから	25	48.1%
信頼できる薬剤師がいるから	14	26.9%
サービスが良いから	4	7.7%
その他	3	5.8%



[その他の意見から抜粋]

- ・現在、居宅療養管理指導のサービスを利用している。
- ・長く利用しているから。

問3-2 問3で「かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局を決めた理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=73)

項目	人数(人)	割合(%)
いきつけの医療機関の近くにあるから	45	61.6%
自宅(職場)の近くにあり便利だから	41	56.2%
サービスが良いから	4	5.5%
信頼できる薬剤師がいるから	1	1.4%
その他	4	5.5%



[その他の意見から抜粋]

- ・病院の隣にあるから

問3-3 問3で「かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬剤師を決めていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=73)

項目	人数(人)	割合(%)
かかりつけ薬剤師を知らなかったから	25	34.2%
かかりつけにしたい薬剤師が見つかっていないから	24	32.9%
かかりつけ薬剤師を決めるメリットがわからないから	23	31.5%
薬局を利用する機会が少なく必要ないから	18	24.7%
かかりつけ薬剤師を決めるのが面倒だから	8	11.0%
その他	8	11.0%



[その他の意見から抜粋]

- ・かかりつけ薬局に行けば前回何を服用したかなど分かるため、わざわざかかりつけ薬剤師を決める必要がないから。
- ・かかりつけ薬剤師を決めたとしても処方箋で薬を受け取る際にいないケースもありうる。

問3-4 問3で「決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局を決めていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=129)

項目	人数(人)	割合(%)
それぞれの医療機関に近い薬局が便利だから	82	63.6%
薬局を利用する機会が少ないから	42	32.6%
かかりつけ薬局を決めるメリットを感じないから	33	25.6%
自宅の近くなどに利用しやすい薬局がないから	11	8.5%
医薬品の在庫が無いなど待たされるから	6	4.7%
その他	8	6.2%

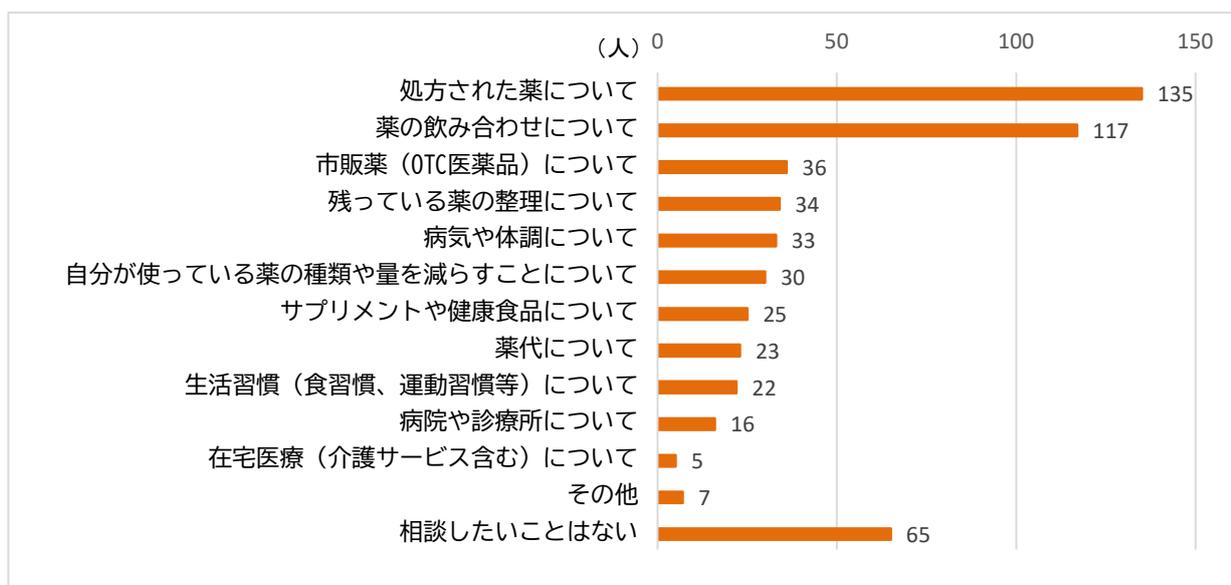


[その他の意見から抜粋]

- ・継続している薬についてはお薬手帳にあり、かかりつけの加算料金がかかると知ったので。
- ・行く病院により、近くの薬局を利用する機会が多いため。

問4 あなたが利用している薬局の薬剤師に相談したいことを、次の中から選択してください。(「相談したいことはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
処方された薬について	135	53.1%
薬の飲み合わせについて	117	46.1%
市販薬(OTC医薬品)について	36	14.2%
残っている薬の整理について	34	13.4%
病気や体調について	33	13.0%
自分が使っている薬の種類や量を減らすことについて	30	11.8%
サプリメントや健康食品について	25	9.8%
薬代について	23	9.1%
生活習慣(食習慣、運動習慣等)について	22	8.7%
病院や診療所について	16	6.3%
在宅医療(介護サービス含む)について	5	2.0%
その他	7	2.8%
相談したいことはない	65	25.6%



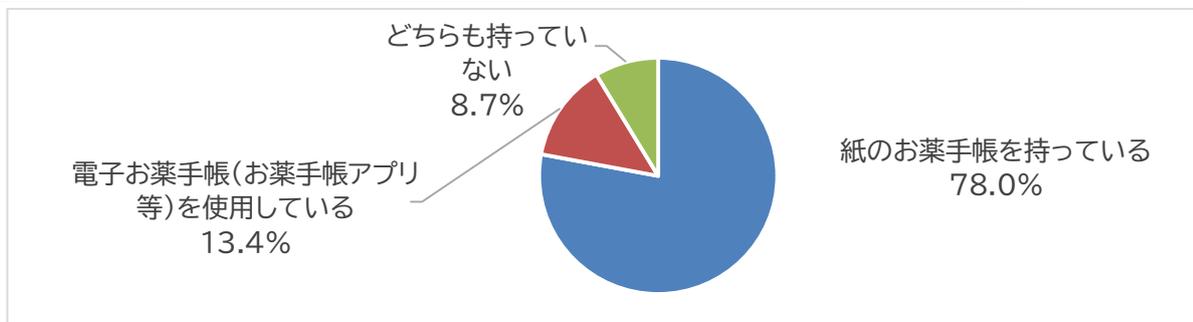
[その他の意見から抜粋]

- ・ジェネリックの効果や発売時期について。先発薬をジェネリックに、あるいはその逆に変更できるかについて。
- ・同じ効能で他の薬があるか。他の人が使っていてどのような効果や副作用がでているか。

問5 あなたは、紙のお薬手帳(※)を持っていますか。または、電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用していますか。(n=254)

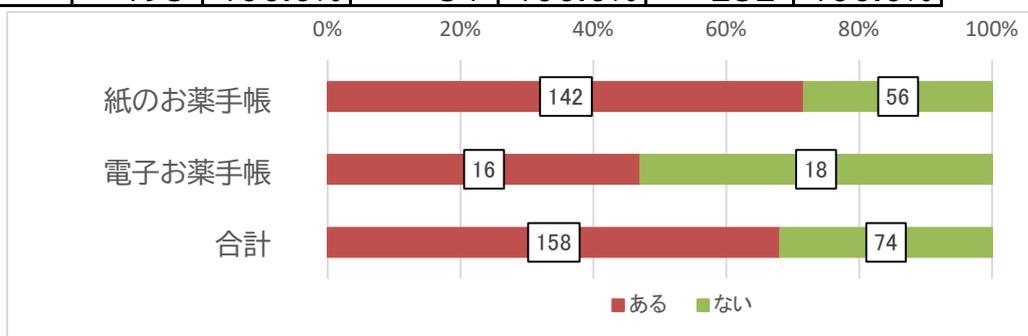
※お薬手帳…処方された薬の名前や量などについて記録しておくための手帳。薬によるアレルギーの発症経験や薬局・薬店で購入して使用した薬についても記録できる

項目	人数(人)	割合(%)
紙のお薬手帳を持っている	198	78.0%
電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用している	34	13.4%
どちらも持っていない	22	8.7%
合計	254	100.0%



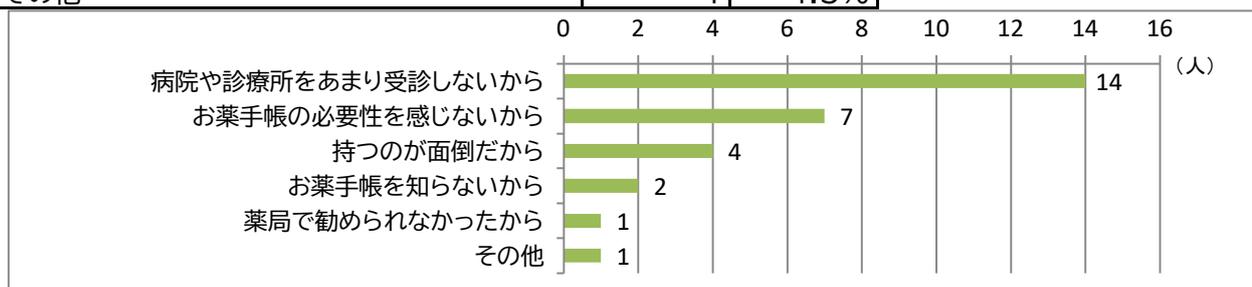
問5-1 問5で「紙のお薬手帳を持っている」または「電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用している」を選択された方はお薬手帳を医師に見せたことはありますか。(紙のお薬手帳:n=198、電子お薬手帳:n=34、合計:n=232)

項目	紙のお薬手帳		電子お薬手帳		合計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	142	71.7%	16	47.1%	158	68.1%
ない	56	28.3%	18	52.9%	74	31.9%
合計	198	100.0%	34	100.0%	232	100.0%



問5-2 問5で「どちらも持っていない」を選択された方はお薬手帳を持っていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=22)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所をあまり受診しないから	14	63.6%
お薬手帳の必要性を感じないから	7	31.8%
持つのが面倒だから	4	18.2%
お薬手帳を知らないから	2	9.1%
薬局で勧められなかったから	1	4.5%
その他	1	4.5%



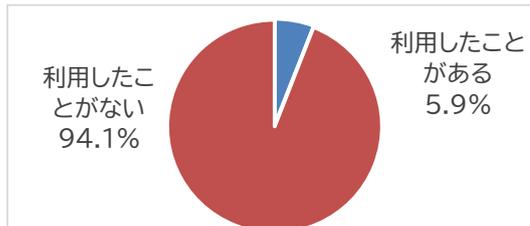
[その他の意見から抜粋]

・紙やアプリ等のお薬手帳がなくても、マイナンバーカードや電子処方箋で過去の処方歴などを閲覧利用できるため。

問6 令和5年から電子処方箋(※)の運用が開始されましたが、あなたは電子処方箋を利用したことがありますか。(n=254)

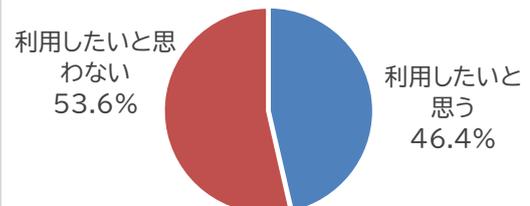
※電子処方箋…現在紙で行われている処方箋の運用を電子で実施する仕組み。患者が直近の処方や調剤された内容を閲覧したり、重複した薬のチェックが可能となる

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	15	5.9%
利用したことがない	239	94.1%
合計	254	100.0%



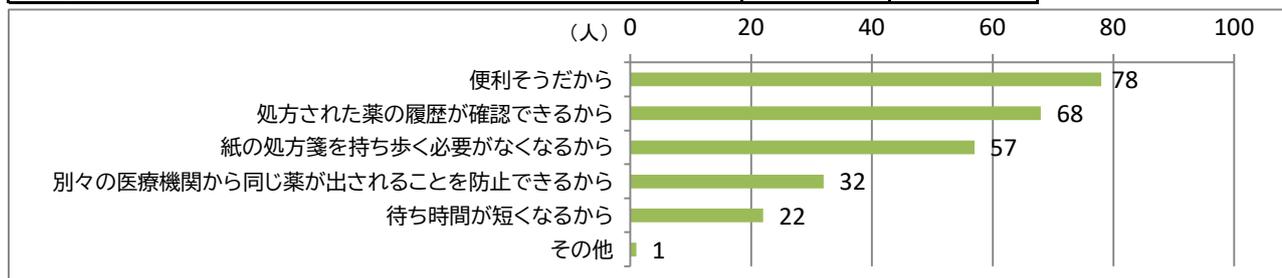
問6-1 問6で「利用したことがない」を選択された方におたずねします。電子処方箋を利用したいと思いますか。(n=239)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したいと思う	111	46.4%
利用したいと思わない	128	53.6%
合計	239	100.0%



問6-2 問6-1で「利用したいと思う」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=111)

項目	人数(人)	割合(%)
便利そうだから	78	70.3%
処方された薬の履歴が確認できるから	68	61.3%
紙の処方箋を持ち歩く必要がなくなるから	57	51.4%
別々の医療機関から同じ薬が出されることを防止できるから	32	28.8%
待ち時間が短くなるから	22	19.8%
その他	1	0.9%

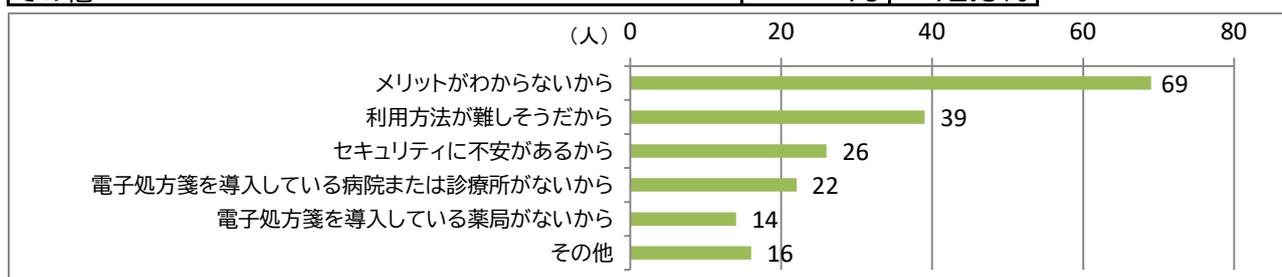


[その他の意見から抜粋]

・紙の処方箋の紛失等による情報漏洩のリスクがなくなる

問6-3 問6-1で「利用したいと思わない」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=128)

項目	人数(人)	割合(%)
メリットがわからないから	69	53.9%
利用方法が難しそうだから	39	30.5%
セキュリティに不安があるから	26	20.3%
電子処方箋を導入している病院または診療所がないから	22	17.2%
電子処方箋を導入している薬局がないから	14	10.9%
その他	16	12.5%



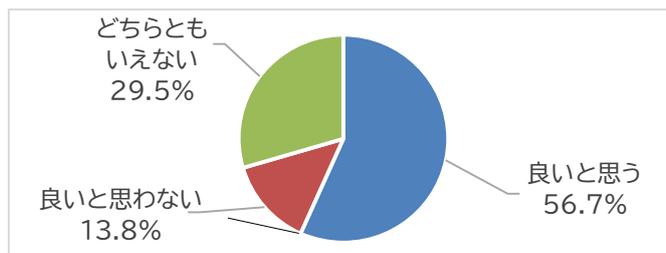
[その他の意見から抜粋]

・紙の方が、自分に何かあった場合、家族が分かりやすい。

問7 あなたは医薬分業(※)についてどのように考えていますか。(n=254)

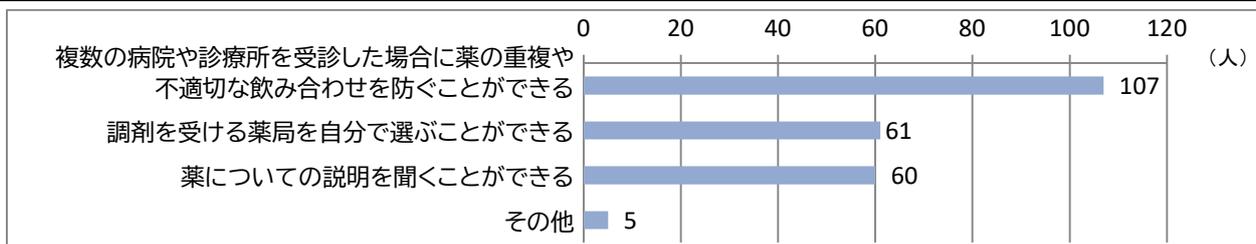
※医薬分業…医師または歯科医師が処方せんを発行し、薬局の薬剤師が調剤を行う仕組み

項目	人数(人)	割合(%)
良いと思う	144	56.7%
良いと思わない	35	13.8%
どちらともいえない	75	29.5%
合計	254	100.0%



問7-1 問7で「良いと思う」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=144)

項目	人数(人)	割合(%)
複数の病院や診療所を受診した場合に薬の重複や不適切な飲み合わせを防ぐことができる	107	74.3%
調剤を受ける薬局を自分で選ぶことができる	61	42.4%
薬についての説明を聞くことができる	60	41.7%
その他	5	3.5%

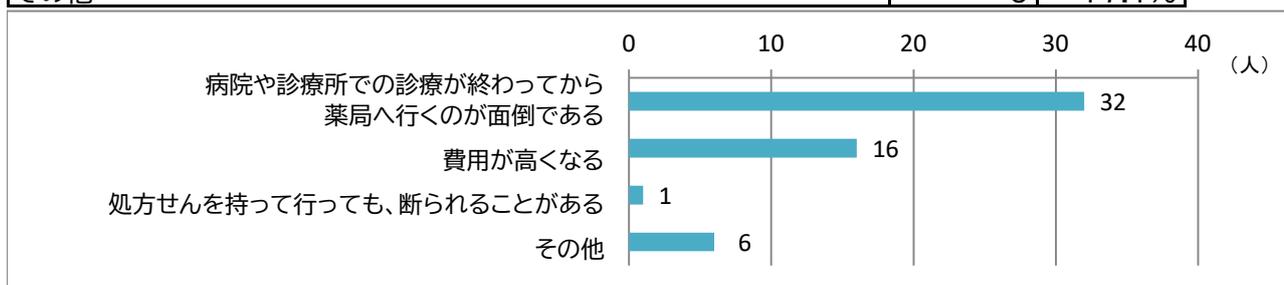


[その他の意見から抜粋]

- ・かかりつけ医師からも、服用する薬の説明を受けるが、薬局からも薬について同様の説明を受けると安心できるから。
- ・病院やクリニック等医療機関側が、外来患者用の在庫や薬剤師等を置かなくてよくなる。

問7-2 問7で「良いと思わない」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=35)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所での診療が終わってから薬局へ行くのが面倒である	32	91.4%
費用が高くなる	16	45.7%
処方せんを持って行っても、断られることがある	1	2.9%
その他	6	17.1%



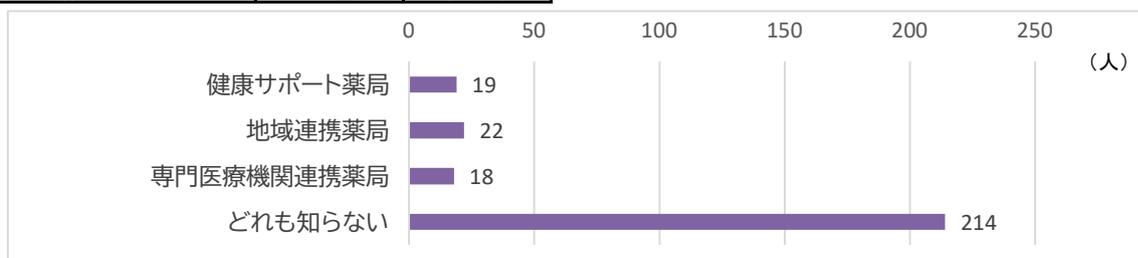
[その他の意見から抜粋]

- ・医師の処方箋を薬剤師が変更して患者が助かった事例がどれくらいあるか不明。効果が分からず、また、患者の手間がかかる。
- ・土日など対応できない。

問8 あなたは健康サポート薬局(※)、地域連携薬局(※)、専門医療機関連携薬局(※)を知っていますか。知っているものを選択してください。(「どれも知らない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=254)

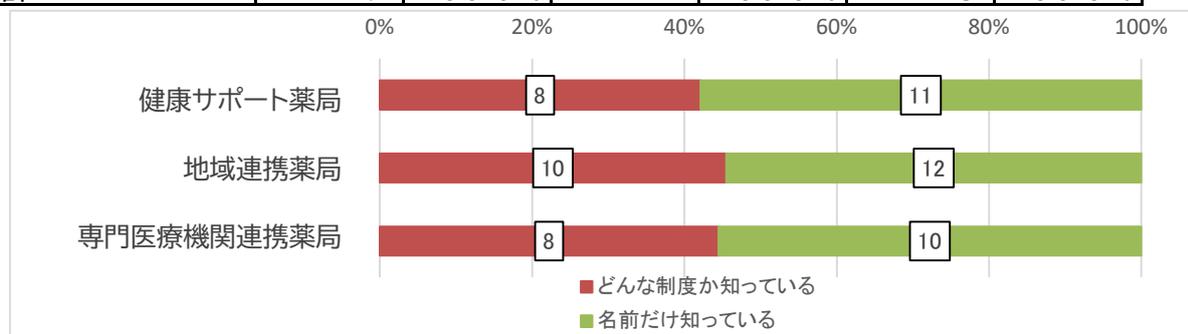
※健康サポート薬局…健康の維持・増進に関する相談を幅広く受け付け、率先して地域住民の健康サポートを積極的に支援する薬局。  
 ※地域連携薬局…外来受診時だけでなく、在宅医療への対応や入退院時を含め、他の医療提供施設との服薬情報の一元的・継続的な情報連携に対応できる薬局。  
 ※専門医療機関連携薬局…がんの専門的な薬学管理に関係機関と連携して対応できる薬局。

項目	人数(人)	割合(%)
健康サポート薬局	19	7.5%
地域連携薬局	22	8.7%
専門医療機関連携薬局	18	7.1%
どれも知らない	214	84.3%



問8-1 健康サポート薬局、地域連携薬局、専門医療機関連携薬局についてどの程度知っているか教えて下さい。(健康サポート薬局:n=19、地域連携薬局:n=22、専門医療機関連携薬局:n=18)

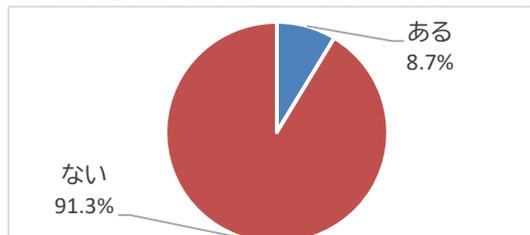
項目	健康サポート薬局		地域連携薬局		専門医療機関連携薬局	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
どんな制度か知っている	8	42.1%	10	45.5%	8	44.4%
名前だけ知っている	11	57.9%	12	54.5%	10	55.6%
合計	19	100.0%	22	100.0%	18	100.0%



問9 あなたは令和6年4月から運用を開始した全国統一的な検索・情報提供システムである「医療情報ネット(愛称ナビイ)※」で薬局を探したことがありますか。(n=254)

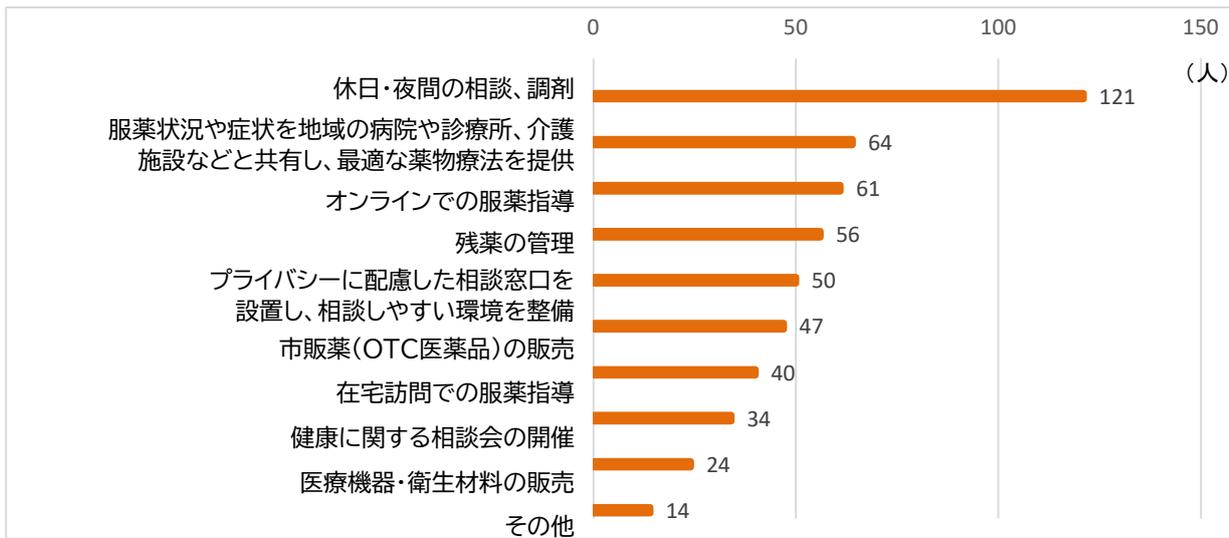
※医療情報ネット…診療日や診療科目といった一般的な情報に加え、対応可能な疾患・治療内容、提供しているサービスなど様々な情報から、全国の医療機関・薬局を検索することができるシステム

項目	人数(人)	割合(%)
ある	22	8.7%
ない	232	91.3%
合計	254	100.0%



問10 薬局は薬を調剤する以外に様々な取組をしていますが、あなたが薬局に期待する取組は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
休日・夜間の相談、調剤	121	47.6%
服薬状況や症状を地域の病院や診療所、介護施設などと共有し、最適な薬物療法を提供	64	25.2%
オンラインでの服薬指導	61	24.0%
残薬の管理	56	22.0%
プライバシーに配慮した相談窓口を設置し、相談しやすい環境を整備	50	19.7%
市販薬(OTC医薬品)の販売	47	18.5%
在宅訪問での服薬指導	40	15.7%
健康に関する相談会の開催	34	13.4%
医療機器・衛生材料の販売	24	9.4%
その他	14	5.5%



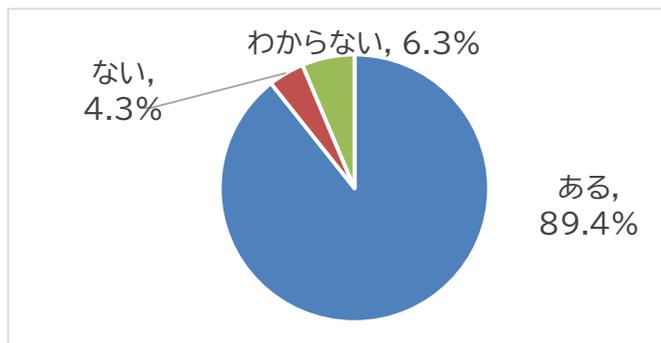
[その他の意見から抜粋]

・薬をいただきに薬局に行く時間がないため、薬が切れる情報をチェックして、薬を届けていただく仕組みを希望する。

問11 あなたは今までにジェネリック医薬品(後発医薬品)(※)を実際に使用したことがありますか。(n=254)

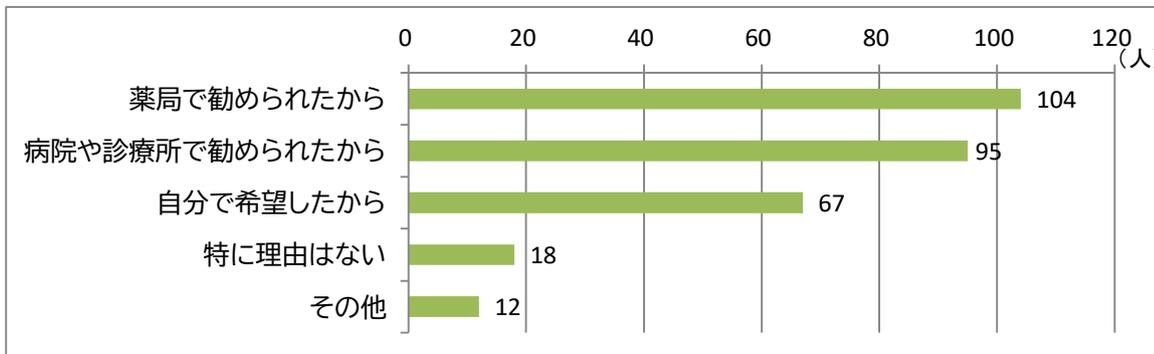
※ジェネリック医薬品(後発医薬品)…先発医薬品(先に開発された薬)の特許が切れた後に別のメーカーから販売される同じ有効成分を使った薬。開発に必要な経費があまりかからないため、先発医薬品よりも価格が安い。

項目	人数(人)	割合(%)
ある	227	89.4%
ない	11	4.3%
わからない	16	6.3%
合計	254	100%



問11-1 問11でジェネリック医薬品を使用したことが「ある」を選択された理由は何ですか。(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
薬局で勧められたから	104	45.8%
病院や診療所で勧められたから	95	41.9%
自分で希望したから	67	29.5%
特に理由はない	18	7.9%
その他	12	5.3%

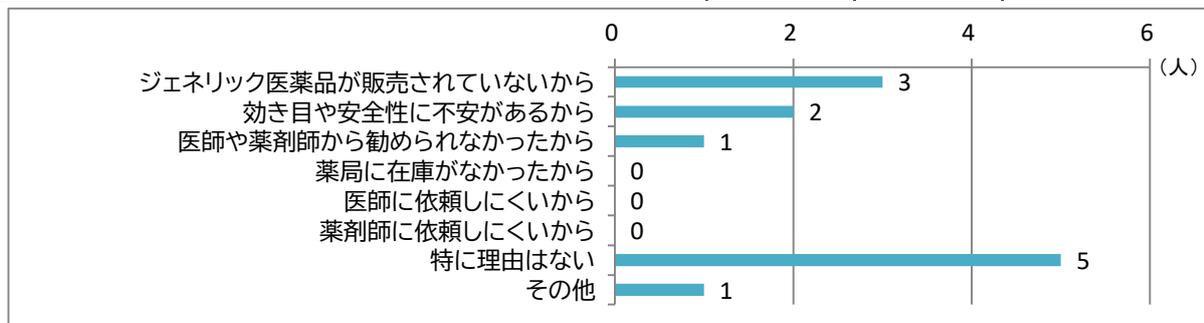


[その他の意見から抜粋]

- ・経済的な理由(薬代が安くなるから)
- ・健康保険組合からの周知・推奨

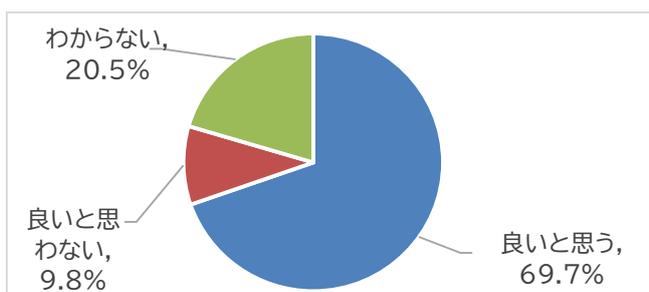
問11-2 問11でジェネリック医薬品を使用したことが「ない」を選択された理由は何ですか。(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=11)

項目	人数(人)	割合(%)
ジェネリック医薬品が販売されていないから	3	27.3%
効き目や安全性に不安があるから	2	18.2%
医師や薬剤師から勧められなかったから	1	9.1%
薬局に在庫がなかったから	0	0.0%
医師に依頼しにくいから	0	0.0%
薬剤師に依頼しにくいから	0	0.0%
特に理由はない	5	45.5%
その他	1	9.1%



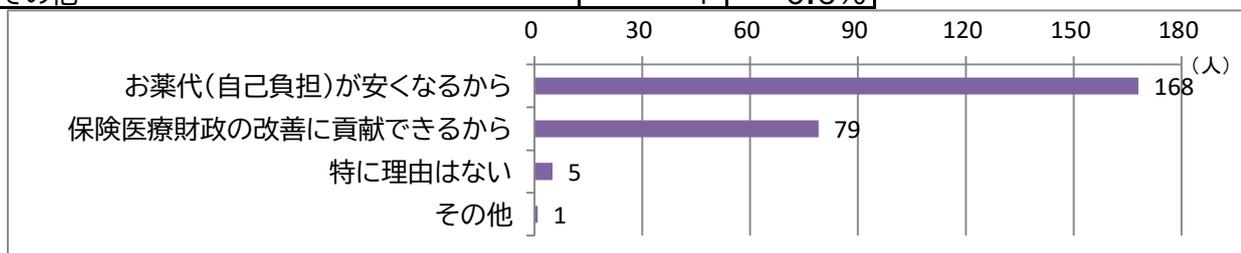
問12 ジェネリック医薬品(後発医薬品)を推進することについて、どのように思いますか。(n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
良いと思う	177	69.7%
良いと思わない	25	9.8%
わからない	52	20.5%
合計	254	100.0%



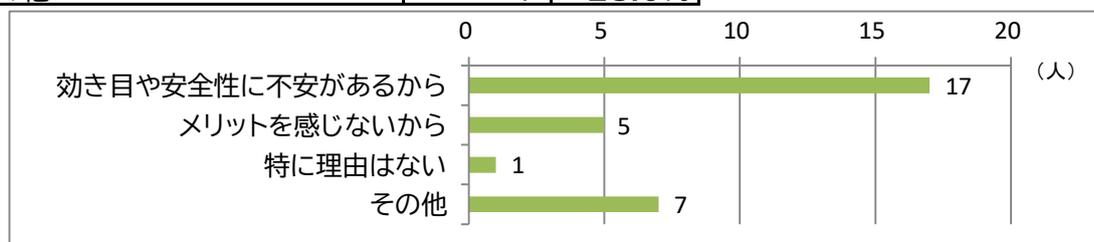
問12-1 問12で「良いと思う」を選択された理由は何ですか。(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=177)

項目	人数(人)	割合(%)
お薬代(自己負担)が安くなるから	168	94.9%
保険医療財政の改善に貢献できるから	79	44.6%
特に理由はない	5	2.8%
その他	1	0.6%



問12-2 問12で「良いと思わない」を選択された理由は何ですか。(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=25)

項目	人数(人)	割合(%)
効き目や安全性に不安があるから	17	68.0%
メリットを感じないから	5	20.0%
特に理由はない	1	4.0%
その他	7	28.0%

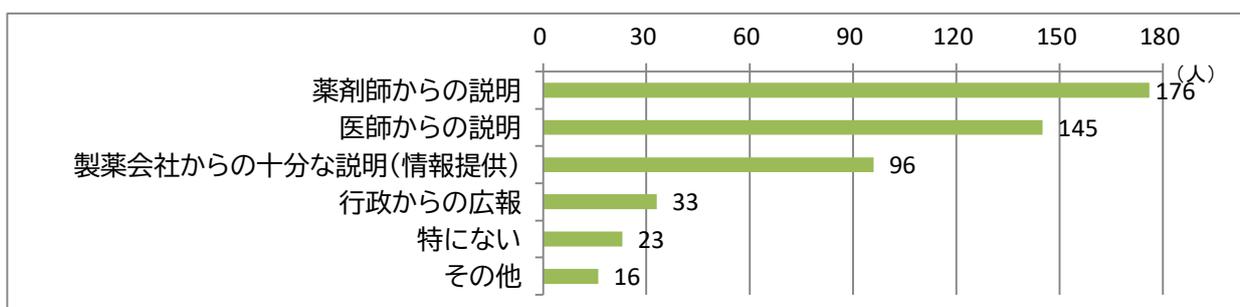


[その他の意見から抜粋]

- ・ジェネリック医薬品が多くなると製薬会社の新薬開発の費用が少なくなり良いお薬の開発が遅くなるかもしれないから。
- ・ジェネリック医薬品を改ざんして製造した企業は複数あり、医薬品としての成分が足りていないものも報道された。それからジェネリック医薬品に対して不安に感じることもある。

問13 ジェネリック医薬品(後発医薬品)を安心して使用するためには、**どのようなことが必要だ**と思いますか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
薬剤師からの説明	176	69.3%
医師からの説明	145	57.1%
製薬会社からの十分な説明(情報提供)	96	37.8%
行政からの広報	33	13.0%
特にない	23	9.1%
その他	16	6.3%



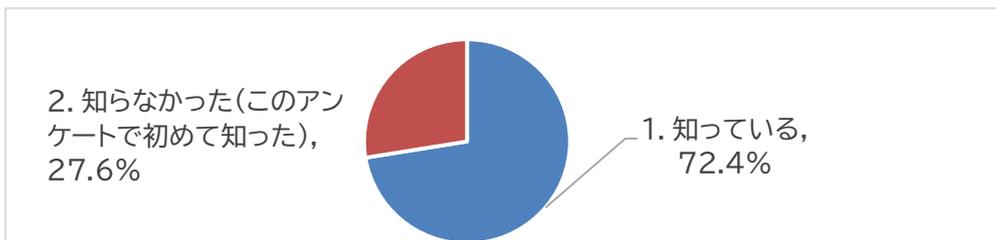
[その他の意見から抜粋]

- ・製薬会社の取り締まりや監査の厳格化
- ・先発医薬品と製法が同じだけでなく、効果も同じであることを客観的で定量的なデータに基づいて説明を受けられること。
- ・ジェネリック医薬品が元の医薬品と同じ結果をもたらすことの確認が必要で、結果を公表すべき。

問14 あなたは、現在、医薬品の供給不安(※)が起きていることを知っていますか。(n=254)

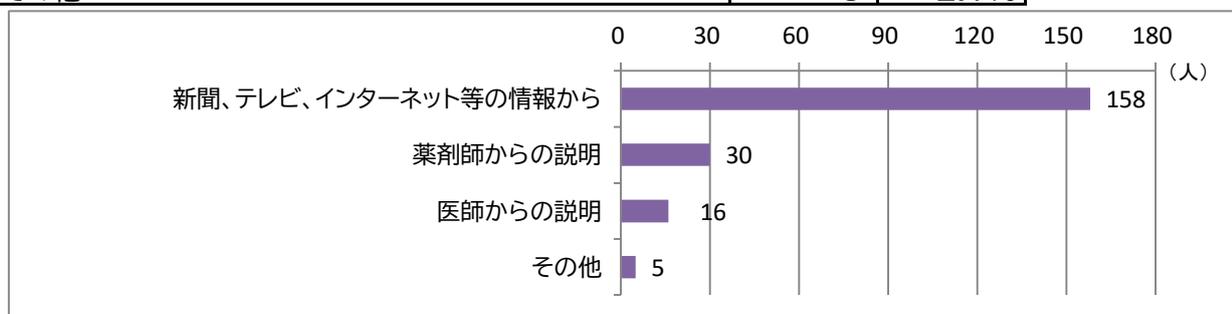
※医薬品の供給不安…製薬メーカーの違反等によって薬が出荷できなくなったり、特定の薬の需要が高まり過ぎて供給が追いつかないなどの理由から薬の供給が不安定になっている問題。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	184	72.4%
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	70	27.6%
合計	254	100%



問14-1 問14で「知っている」を選択された方におたずねします。どこで知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=184)

項目	人数(人)	割合(%)
新聞、テレビ、インターネット等の情報から	158	85.9%
薬剤師からの説明	30	16.3%
医師からの説明	16	8.7%
その他	5	2.7%



[その他の意見から抜粋]

- ・同僚の産業医や保健師から。
- ・薬を処方されてもない時がある。

問15 医薬品の供給不安によって、あなたに処方された薬が変更または中止されたことはありますか。(n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
変更または中止されたことがある	43	16.9%
変更または中止されたことはない	174	68.5%
わからない	37	14.6%
合計	254	100.0%

